

「健康教育委員会だより」NO. 2

# 教育研究集会報告

平成29年9月19日(火)  
諏訪教育会健康教育委員会

8月26日(土) 教育研究集会がおこなわれました。第16分科会「健康教育」には32名の先生方とPTAの皆さんが参加され有意義な時間となりました。

分科会 演習・情報交換  
アイスブレーキング  
私の「保健室でのおすすめの1冊」



絵本の表紙をパズルにしたパーツを組み合わせながらグループを作り、そのグループごとに、私の「保健室でのおすすめの1冊」を紹介し合いました。性の指導、命、心ほんわか、自分自身のために・・・など、様々な分野から紹介されました。全員の先生方からのお薦めの1冊一覧を、後日先生方に配布させていただきましたのでご確認ください。



昨年度から始まった運動器検診。

岡谷市での実施の経過と様子、課題、また運動器検診を健康教育へつなげていくための各学校の運動遊びや運動習慣をつける取組みを紹介していただきました。一年やってみての課題から調査票を改善したり、学校医の判定から「経過観察」をなくしたりしたこと、各学校では理学療法士さんに学校保健委員会で講演していただいたり、親子で体幹トレーニングする機会を設けたりしている取組みを紹介していただきました。

分科会 問題提示

「運動器検診の実際と課題、今後に向けて」

岡谷市学校保健会養護教諭部会  
岡谷田中小学校 柳澤由紀先生

分科会 レポート

「子どもたちが自分のこととして考え、よりよい健康習慣につなげていかれるような健康教育とその教材のあり方」

原小学校 上野あけみ先生



3年保健授業「元気のヒミツをみつけよう」の実践を発表していただきました。「保健って何のために勉強するの?」と導入で子どもたちに問いかけてから授業をすること、「元気君」というキャラクターを登場させ子どもたちが抵抗なく考えていけるようにしていること、考えさせる場面では「個人 グループ クラス」と話し合いの輪を広げ多くの考えにふれさせていることなど、たくさんの工夫を教えてくださいました。教材もかわいいイラストを用いて子どもたちにわかりやすく、また提示の仕方も視覚にわかりやすく、子どもたちが考え気づく工夫をたくさんさせていただきました。数多くの実践をされている上野先生から多くのことを学ばせていただきました。

分科会 問題提示

「救急車を呼ぶような緊急時に どのようにしたら連携した適切な動きができるだろうか」

諏訪市養護委員会

研究係 四賀小学校 伊東初枝先生

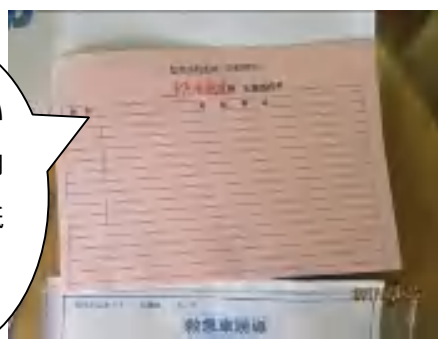
諏訪清陵中 柳澤みどり先生



救急車を呼ぶような緊急時、いかにチームとして迅速な対応がとれるかというテーマで、諏訪市養護委員会で検討されたアクションカードを紹介していただきました。ASUKA モデルから学び、各学校での校内連携に役立てようと考えられたものです。緊急時対応に必要ないくつかの役割を一つずつカードにして職員室などわかるところに置き、いざというときに慌てず役割を遂行できるようになっています。役割表示の裏面には具体的な動きが書かれています。ふだんはカードをリングでとめてあったり、実際のときに首からぶら下げられるひもが付けてあったりと各学校で工夫されていました。役割カードを袋式のケースに入れ、記録できるメモ用紙を入れている学校もありました。実際にこのアクションカードを使った学校ではスムーズに連携ができたとの報告もあり、諏訪市以外の先生方から「ぜひうちの学校でも作りたい!」という声が多く聞かれました。



役割表示にイラストを入れました



記録がだいじ! 記録用のメモ用紙を同封

レポート発表してくださった先生方はじめ、参加していただいた先生方、本当にありがとうございました。